

てくてく 甲斐のくに

第5駅 甲府(南口)

甲斐の国の府中として、その名がついた「甲府」。
意外に知られていないのが、「ジュエリーの街」としての伝統。
あらためて駅からてくてく歩いてみたら、
街のそこかしこで、幾つもの煌めきに出会えました。



01

02

03

04

05

クリスタルアース (甲府駅)

クリスタルアースを構成するのは、32面体カットの水晶約7千個。ジュエリー職人たちが7ヶ月をかけて一つ一つ手作業で研磨。



06

まるごと やまなし館

ワインをはじめ山梨の逸品を厳選したショップと、こだわりの県産食材を使ったメニューが楽しめるオーブンカフェがある。



07

オリオンイースト

中心街の路地裏の通りには、個性的なショップがある。ジュエリー業界で活躍する若手クリエーターたちのジエリーにも出会える。



08

甲府駅前 ちょううちん横丁

横丁の趣が残る一角。甲府の街中にはこんな庶民文化の風情も。横丁加盟の全店が「やまなしあわてなし宣言」をしている。



オープニングガーデン やまなし(山梨県庁)

「かえでの庭」「白鳳の庭」は四季折々の景色が楽しめる。日没後は噴水広場周辺をライトアップし、幻想的な空間を演出。



09

山梨近代人物館 ミュージアム

県指定有形文化財の県庁舍別館内に開設。山梨ゆかりの先人50人の功績に触れられる他、旧知事室など重厚な庁舎内部も必見。



山梨ジュエリー ミュージアム

山梨ジュエリーの歴史を伝えるだけでなく、ジュエリー作家・職人たちの作品を展示。ジュエリーを作れる体験工房も人気。



オリオンイーストで、ジュエリーショップにお勤めしている女性に会いました。「この通りのジュエリーショップは工房を併設しているので、ジュエリーの修理やオーダーに訪れる方もいるんですよ」と教えてくれました。

てくてく
歩きの
途中で…





富士を輝かせる宝石、みつけた。



甲府盆地の夜景が美しいわけは、盆地をぐるりと囲んでいる山々が、漆黒のビロードをまとった宝石箱のようで、無数の光のしづくの輝きと美しさを際立たせているから。少し高台に登って見下ろせば、広げた両手で抱けそうな、まるで私だけの宝石箱。（撮影場所：和田峠）

「よく人は、甲府を『播鉢（すりばち）の底』と評しているが、当っていない。甲府は、もっとハイカラである。」（太宰治『新樹の言葉』）